国際会計基準（IFRS）の導入について

2013年12月13日

三井物産株式会社

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

目次

1. IFRS導入の目的
2. IFRS導入時期
3. 開始B/Sへの影響
4. 13/3期連結財務諸表への影響
5. その他の米国会計基準(USGAAP)との主要な差異
6. IFRS導入による当社主要財務指標への影響

本資料は、IFRS導入に伴い現時点で想定される当社連結財務諸表への影響、並びに当社において米国会計基準とIFRSとの主要な差異と考える項目についての説明を目的に作成されたものです。本資料に記載されている数字は、現時点で試算した概算値かつ監査未了であり、後日公表するIFRSに基づく当社の実際の連結財務諸表とは大きく異なる可能性があります。当社は、本資料に記載されている情報のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

1. IFRS導入の目的

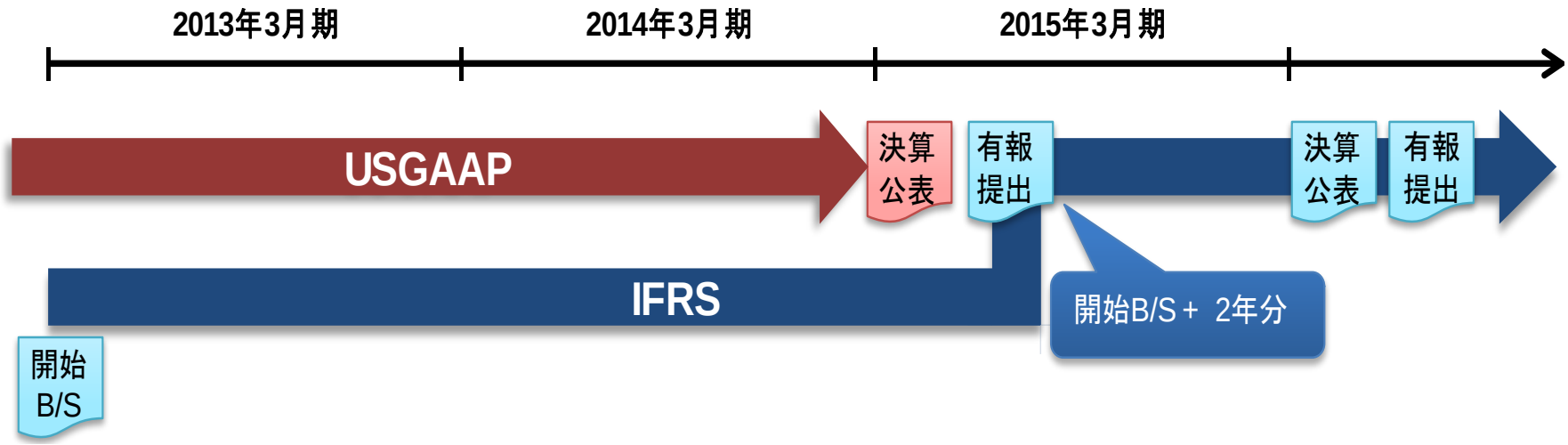
✓連結ベースでの財務報告体制の効率化

✓IFRS導入を梃子にした連結経営の深化

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

2. IFRS導入時期

✓ 2012年4月1日を「移行日」として2014年3月期末の有価証券報告書よりIFRSを導入。



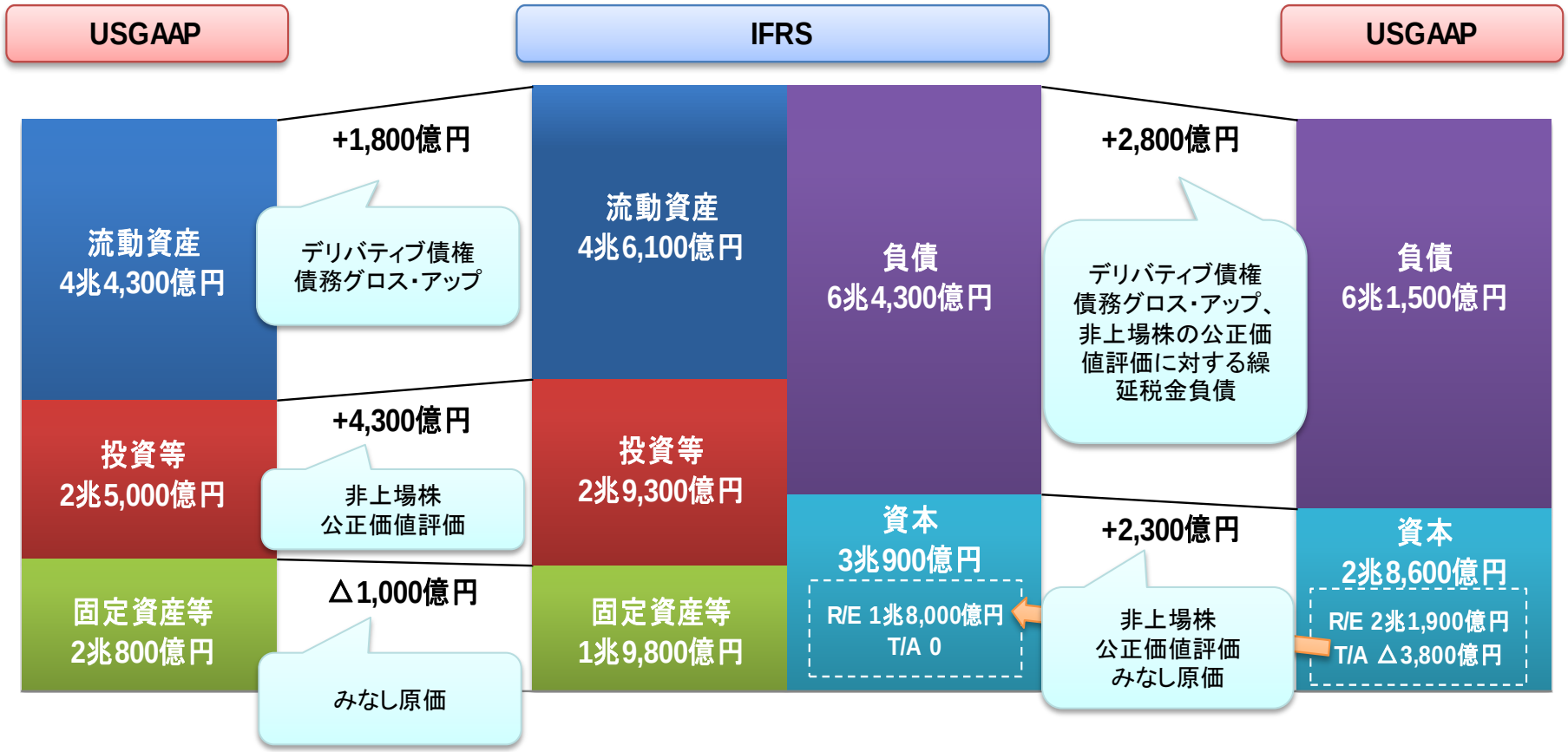
※2014年3月期決算公表までは引き続きUSGAAPを適用。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 開始B/Sへの影響（1）

＜開始B/S(2012年4月1日)＞

✓ 総資産：USGAAP　9兆100億円　⇒　IFRS　9兆5,200億円　（+5,100億円）



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

3. 開始B/Sへの影響(2)

Challenge & Innovation

＜開始B/Sの詳細＞

① USGAAPとの主要な差異による影響

(億円)

項目	内容	影響額		
		資産/負債	株主資本	
			利益剰余金	累積その他の包括利益
持分証券(分類)	Fair Value Through OCI(以下、FVTOCI)への分類に伴う過去期減損損失の振替	-	1,300	△ 1,300
持分証券(測定)	非上場持分証券の公正価値評価	5,000	-	*3,200
デリバティブ	デリバティブ債権債務の相殺要件厳格化に伴うグロス・アップ	900	-	-

*:税効果後

② 初度適用における特例処理による影響

項目	内容	影響額		
		資産/負債	株主資本	
			利益剰余金	累積その他の包括利益
固定資産	みなし原価適用による移行日公正価値評価	△ 800	* △ 700	-
T/Aリセット	移行日時点においてUSGAAPで計上していたT/Aを、全額 利益剰余金に振替	-	△ 3,800	3,800

*:税効果後

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

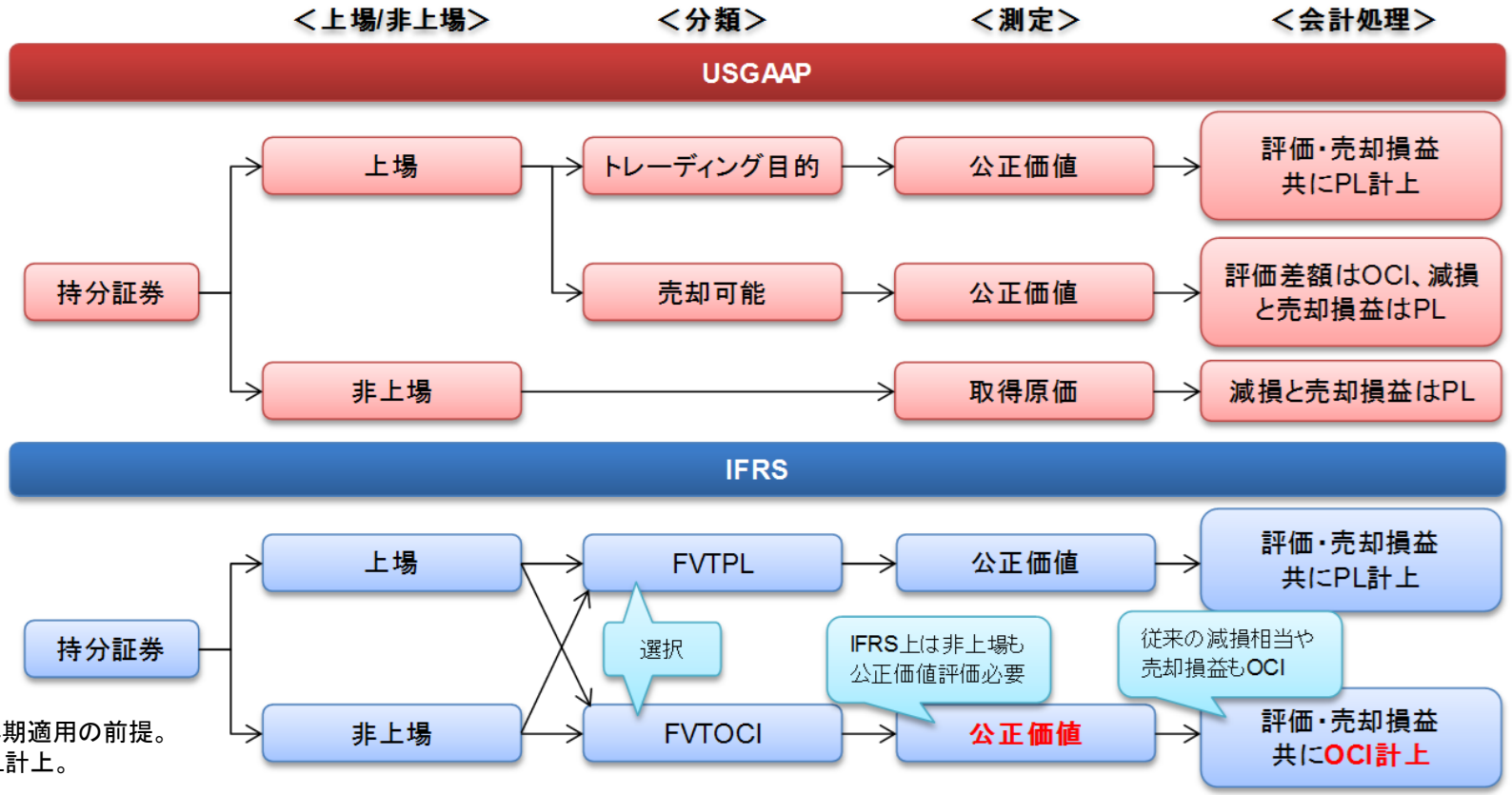
三井物産株式會社

3. 開始B/Sへの影響（3）-①USGAAPとの主要な差異

Challenge & Innovation

＜持分証券の分類と測定＞

- ✓ 持分証券5,000億円、資本3,200億円、繰延税金負債1,800億円の増加。
- ✓ 利益剰余金から累積その他の包括利益に△1,300億円を振替。



※IFRS 9早期適用の前提。
※配当はPL計上。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

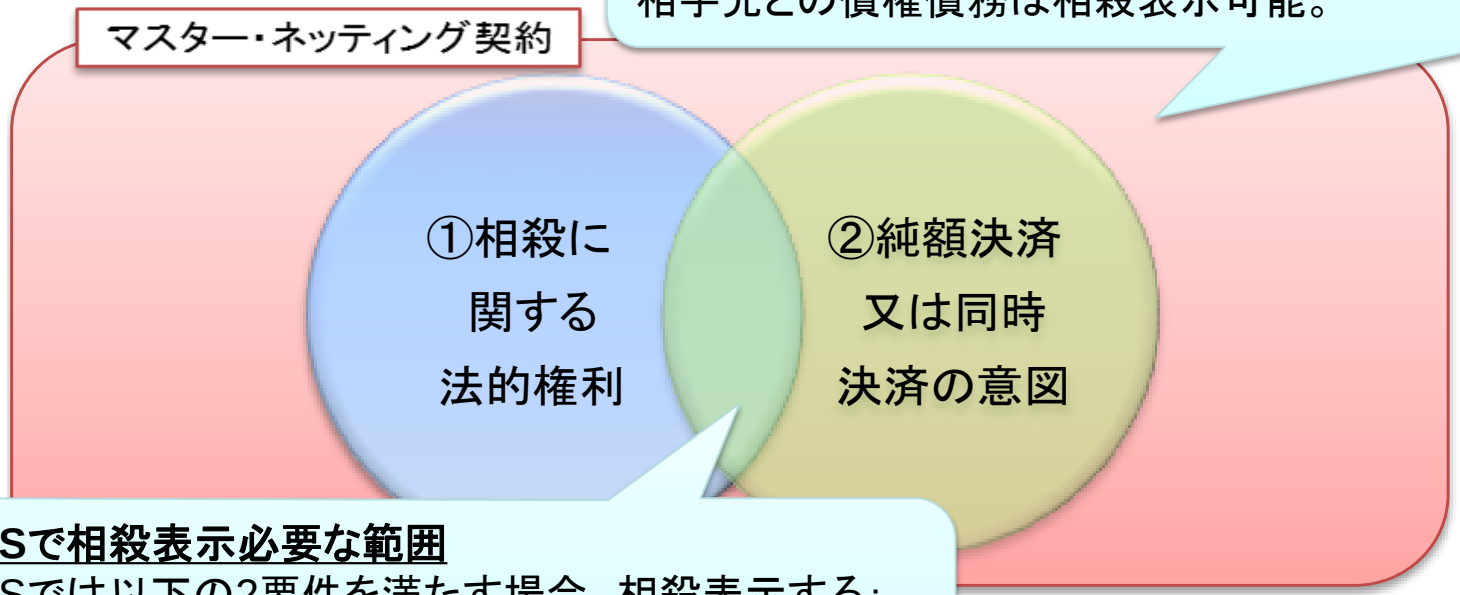
三井物産株式會社

3. 開始B/Sへの影響（3）-①USGAAPとの主要な差異

＜デリバティブ債権債務の相殺＞

✓ 資産・負債ともに900億円の増加。

USGAAPで相殺表示可能な範囲
USGAAPではマスター・ネッティング契約を締結している相手先との債権債務は相殺表示可能。



IFRSで相殺表示必要な範囲
IFRSでは以下の2要件を満たす場合、相殺表示する：
①法的に強制力のある相殺権を有している。
②純額で決済する、又は決済を同時に行う意図がある。

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

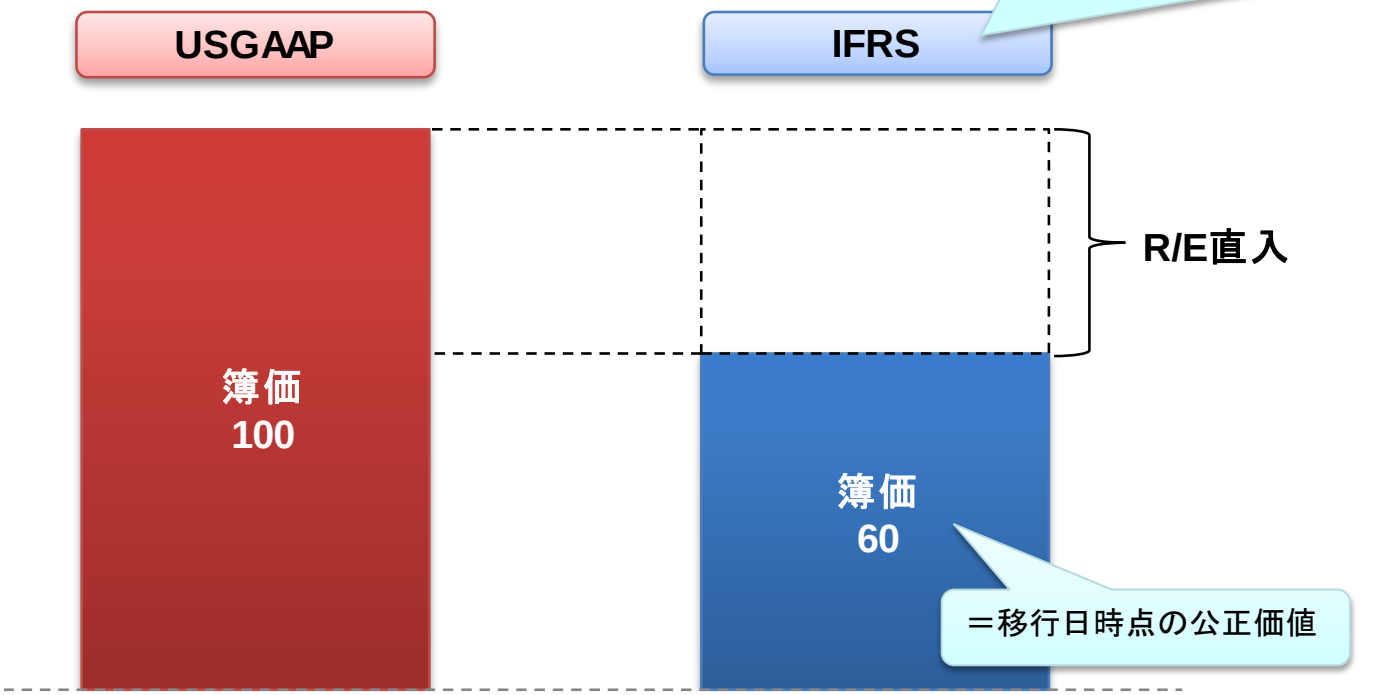
3. 開始B/Sへの影響（4）-②初度適用における特例処理

＜みなし原価＞

✓ 固定資産800億円の減少。将来的な減価償却費負担の減少が見込まれる。

原則としてIFRSベースの簿価を過去に遡って再計算する必要があるが、
任意の固定資産については移行日時点の公正価値に置き換えることが可能。

例）



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

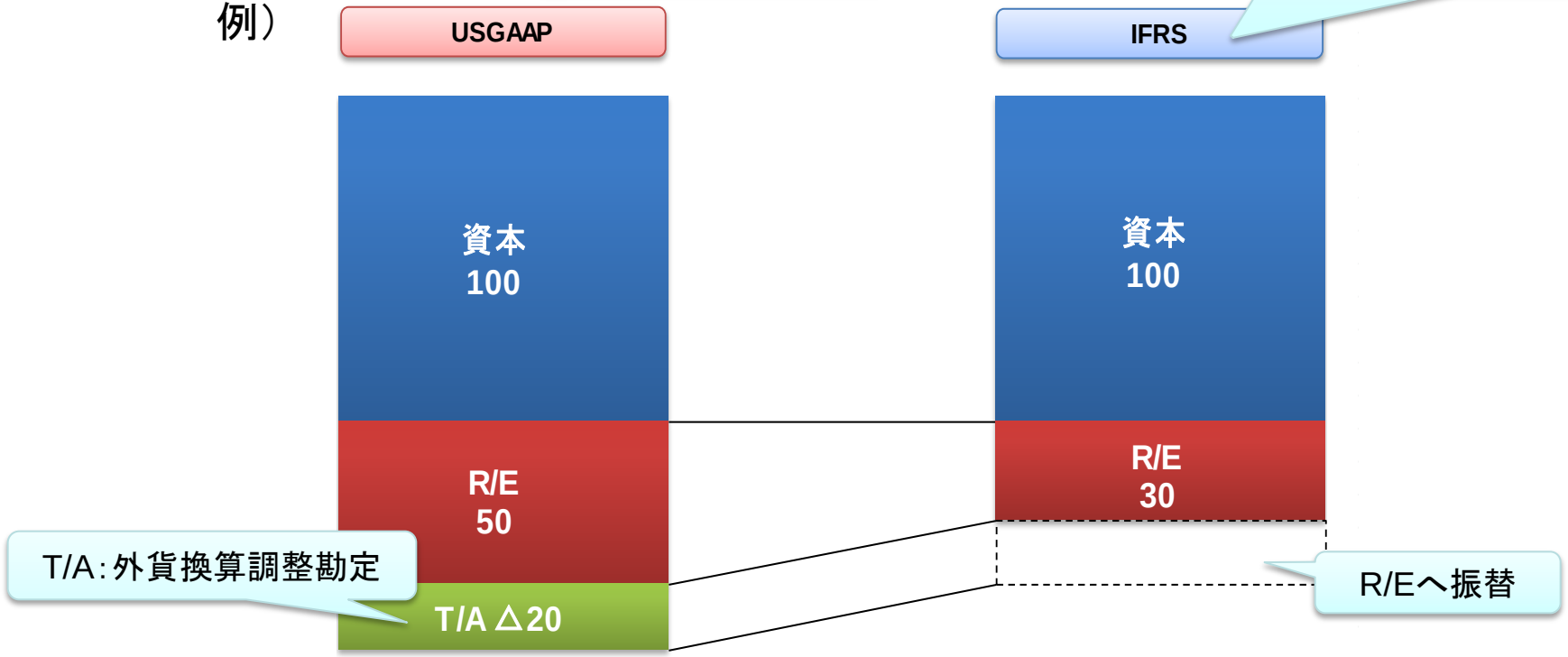
3. 開始B/Sへの影響（4）-②初度適用における特例処理

＜T/Aリセット＞

✓ 累積その他の包括利益から利益剰余金に△3,800億円を振替。

原則として当初からIFRSを適用していた場合のT/Aを計上するが、計算が煩雑なため、代替的にUSGAAPで計上されていたT/Aを全額R/Eへ振り替えることが可能。

例）



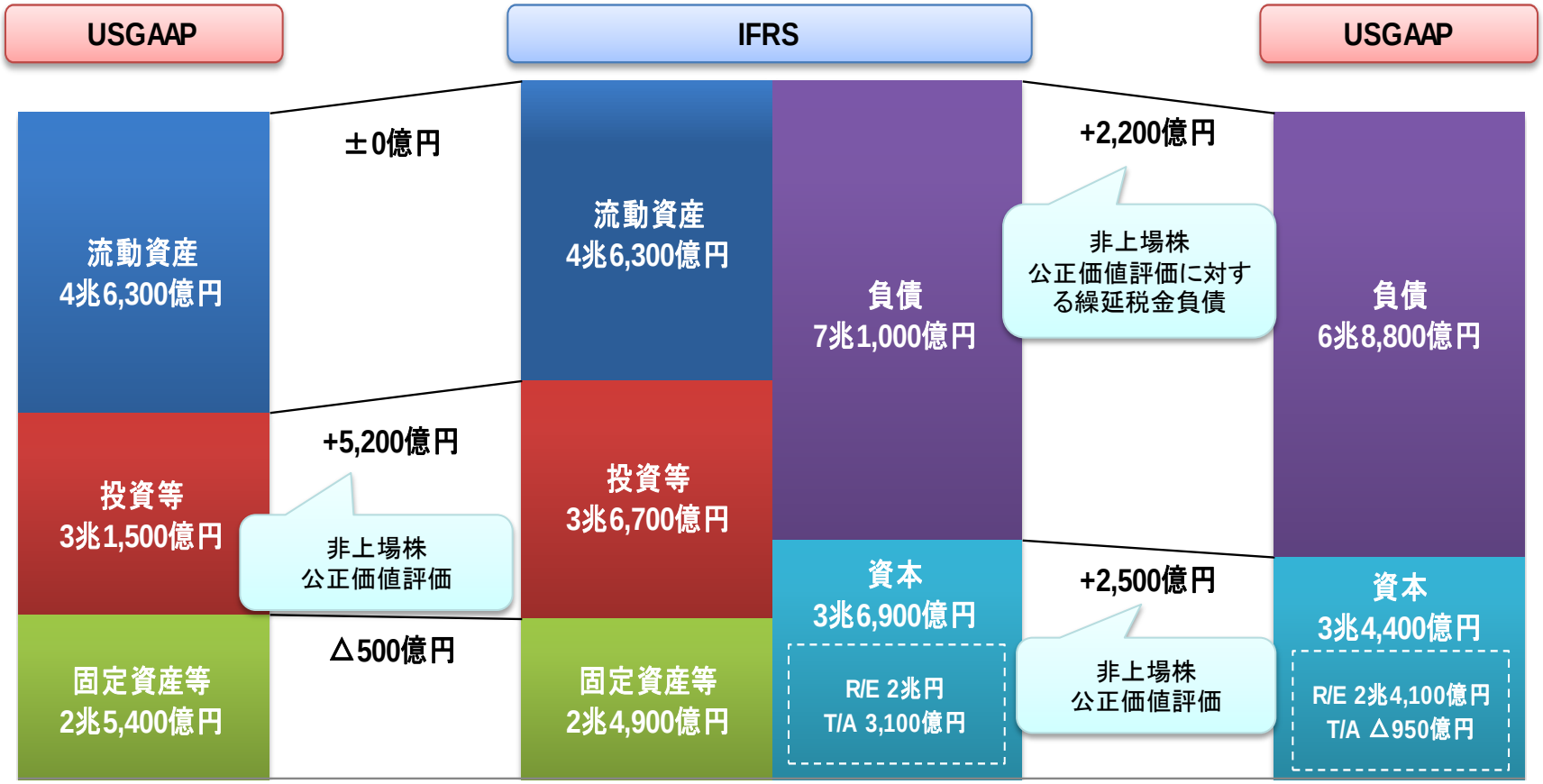
Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

4. 13/3期連結財務諸表への影響(1)

＜2013年3月期　B/Sイメージ＞

✓ 総資産：USGAAP 10兆3,200億円　⇒　IFRS 10兆7,900億円（+4,700億円）



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

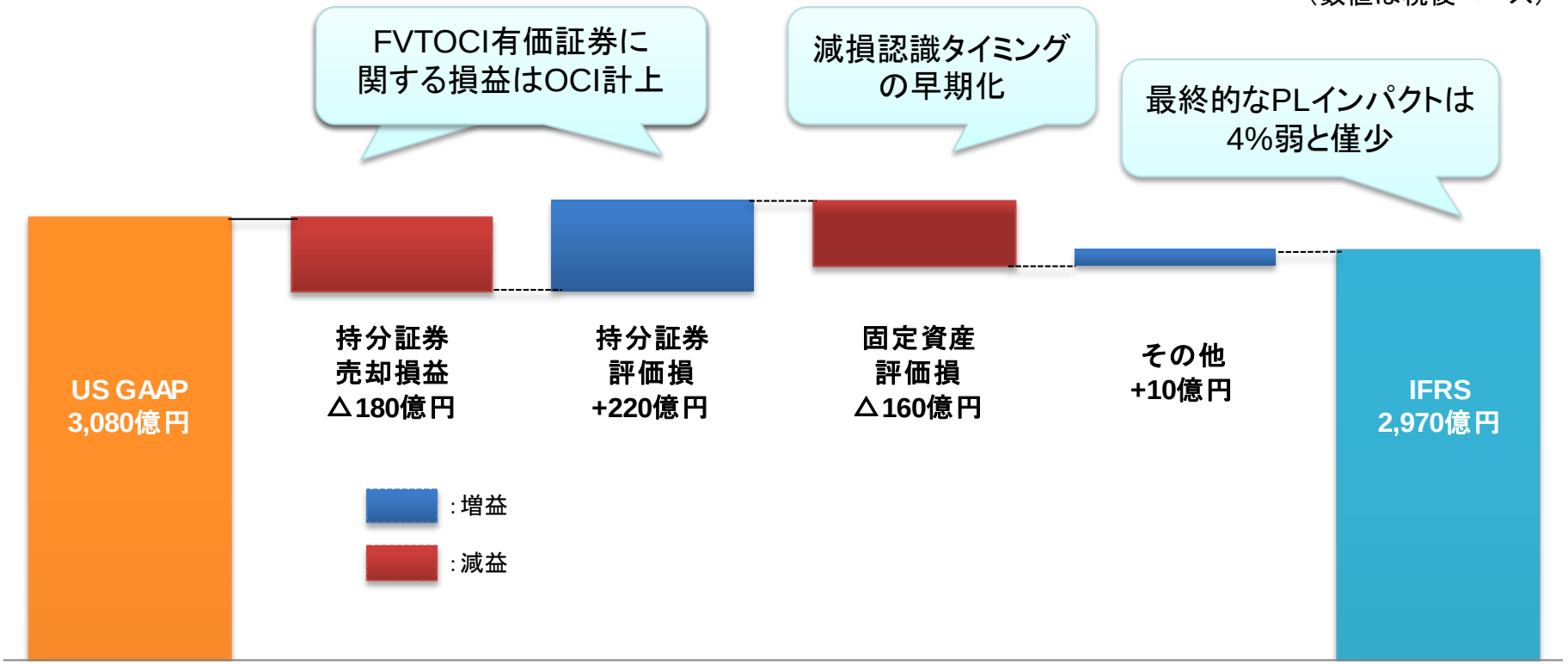
4. 13/3期連結財務諸表への影響(2)

Challenge & Innovation

＜2013年3月期　P/Lイメージ＞

✓ 当期純利益(三井物産㈱に帰属)の増減

（数値は税後ベース）



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

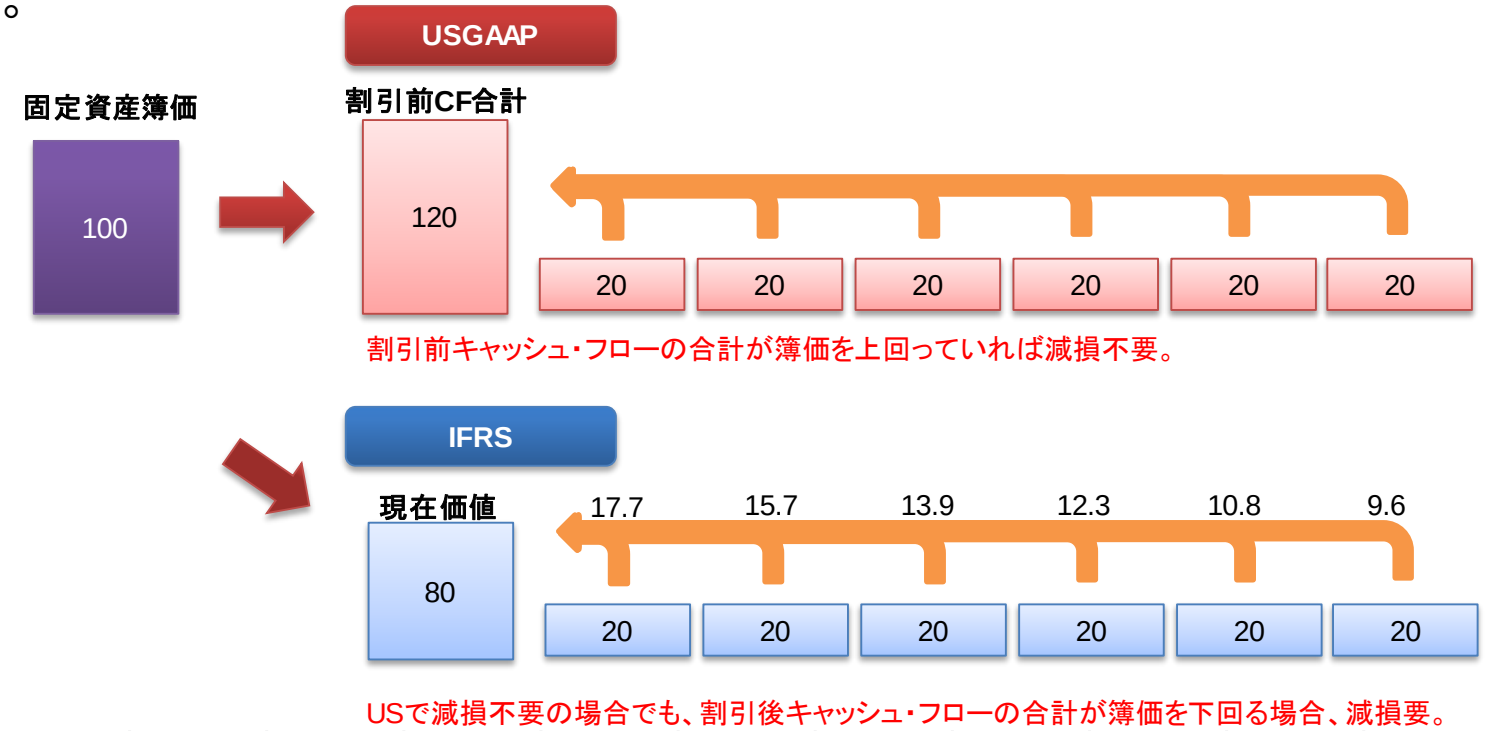
4. 13/3期連結財務諸表への影響(3)

Challenge & Innovation

＜固定資産減損＞

USGAAPでは割引前CF合計と簿価との比較を行い、簿価を下回っていない限り減損の必要はない。また、一旦減損した場合、以後回復しても戻入は不可。

IFRSでは同様の比較は行わず、最初から割引後CFと簿価の比較を行い簿価が上回っている場合、減損を計上する(1Step Approach)。また、以後回復した場合は戻入必要。

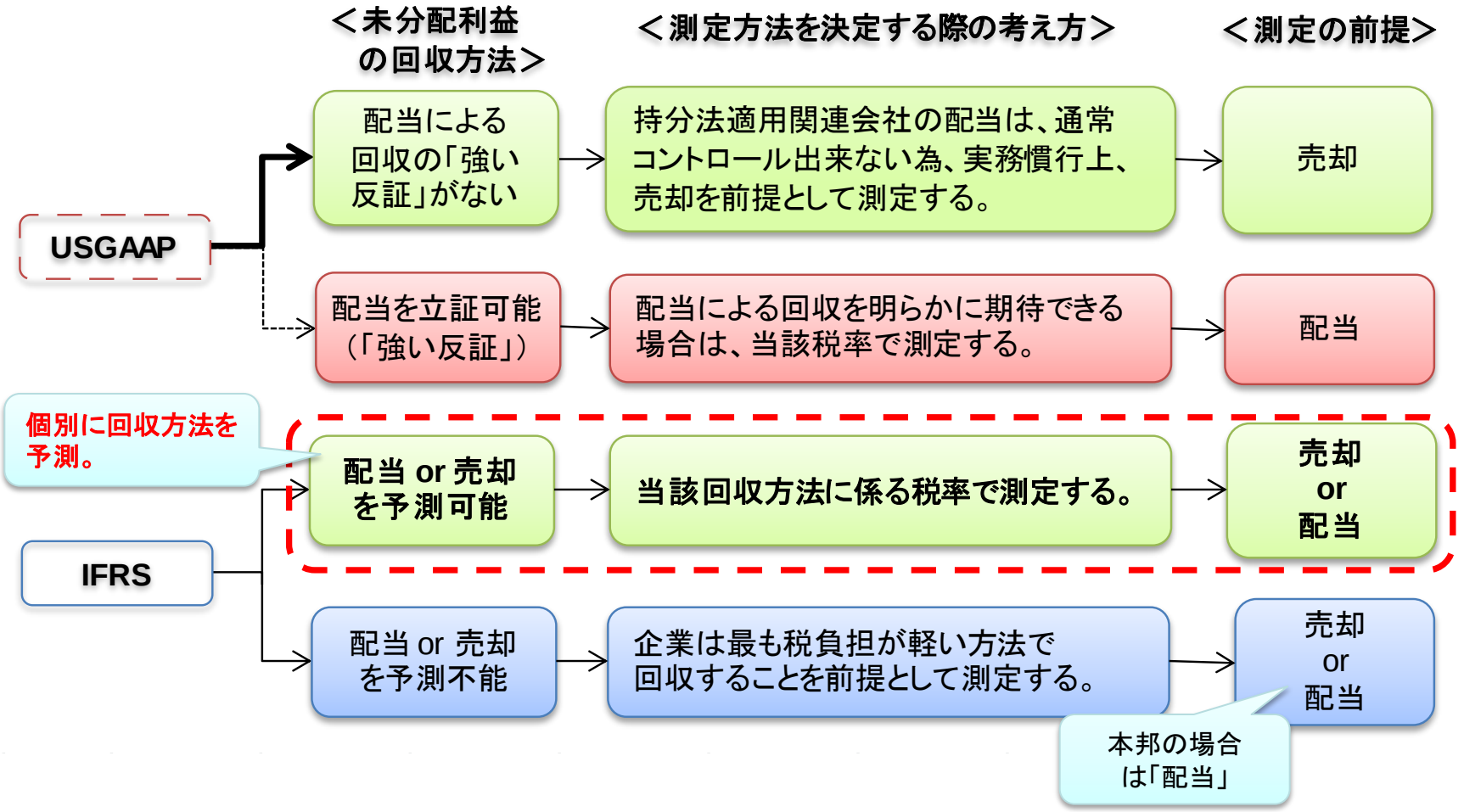


Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

5. その他のUSGAAPとの主要な差異(1)

＜持分法適用関連会社の未分配利益に対する税効果＞



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

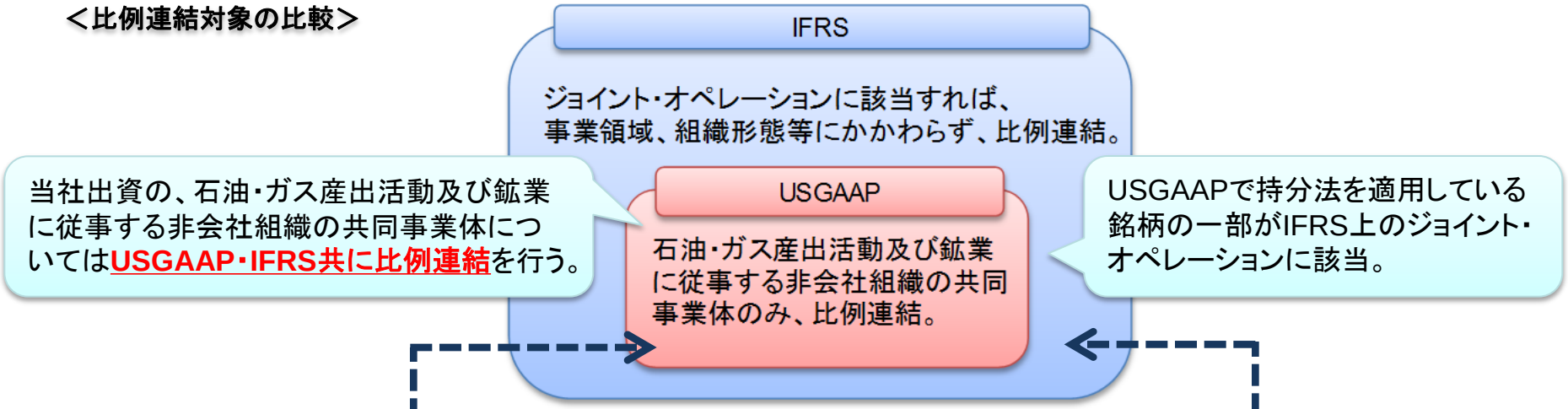
三井物産株式會社

5. その他のUSGAAPとの主要な差異(2)

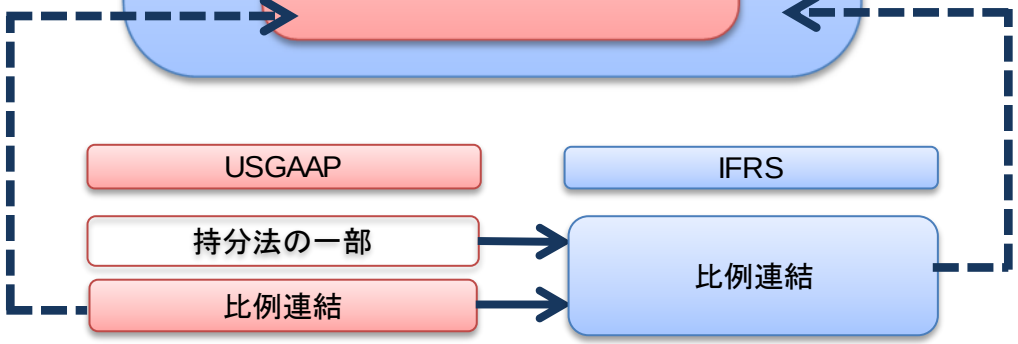
＜ジョイント・オペレーション(J/O)・比例連結＞

日々のオペレーションに係る意思決定が全会一致で決定される共同支配契約のうち、
実質的に資産・負債の権利義務を有しているとみなされるものが該当する。
会計処理としては比例連結を行う。

＜比例連結対象の比較＞



＜会計処理の比較＞



Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.

三井物産株式會社

6. IFRS導入による当社主要財務指標への影響

＜2013年3月期　主要指標イメージ＞

（億円）

指標	USGAAP	IFRS
総資産	103,200	107,900
株主資本	31,800	34,400
当期純利益（三井物産(株)に帰属）	3,080	2,970
ROE	10.6%	9.4%
配当総額	785	785
配当性向	25.5%	26.4%
ネット有利子負債	28,400	28,400
ネットDER(倍)	0.89	0.83

Copyright © MITSUI & CO., LTD. All Rights Reserved.